

# 島九条の会通信

## 第65回例会のお知らせ

### ミャンマーは、その後どうなっているのか？

2021年2月1日ミャンマー国軍はクーデターを起こし、選挙で選ばれたアウン・サン・スーチー氏率いる国民民主連盟政府を破壊して、軍部独裁政権を「樹立」。それに抗議する市民への武力弾圧によって、大勢の犠牲者が出ました。しかし民主派は少数民族諸勢力とも連携して、ミャンマー国民統一政府(NUG)を組織して軍に対する抵抗を続けています。クーデターから3年、日本ではミャンマーの情報がずいぶん少なくなりました。民主主義や国家・軍について今もミャンマーは、私たちに鋭く問いかけています。

今回、3年前にクーデター直後のミャンマー情勢について語っていただいた岐阜大の仲澤和馬名誉教授とミャンマーから来られている Naing さん Aung さんに、最新のミャンマー情勢を話していただきます。

講師 仲澤 和馬さん (岐阜大学名誉教授)

Naing さん Aung さん (ミャンマーから来日)

とき 5月18日(土) 14時～16時

ところ 岐阜市島公民館(島小学校西南角1F)

参加費 無料です(カンパ歓迎します)

## ぜひご参加を！

### 第64回例会の報告 .....

#### 「教育・食育その他あれこれ思うこと」元小学校校長 新井啓二さんの思い

報告が遅れましたが1月20日島公民館で、且島在住元小学校校長の新井啓二さんが話題提供者として、見出しのテーマで64回目の例会を開きました。参加者は13名でした。以下新井さんのお話の要約です。

今は親となっている教え子から、子供の学校のことで相談があった。その学校(小学校)の校長が6年生の子ども達を校長室に呼び出して叱りつけた。担任を飛び越えて威圧的な「指導」をするが、どうしたら良いだろうかというものだ。

その後教育委員会がその校長を指導して解決に向かったが、問題の原因の一つは実習校制度だ。実習校(研修校)とは、岐阜大教育学部の教育実習生を受け入れるとともに、エリートがいく(エリート養成も)岐阜市内の4小学校・5中学校を指す。実習校の教員は超多忙となり、子どもと十分向き合えないし、子どもが抱える問題はなおさら理解できない(参加者から実習校の一つ東長良中では、締め付けが厳しく、生徒同士で監視し合うような指導、軍隊調の行動をさせる、トイレも行列で行かせる、高校に進学後も非行に走る生徒が多いなどの指摘があった)。うらへ続く

その校長も実習校出身で若くして校長となった人物であり、そのエリートが、「思い通りにならない子どもたち」を前に威圧的にしか向き合えないのは、当然の結果だ。過去には実習校で生徒のいじめ・自殺もあったし不登校も多い。

教員志望者の減少・精神疾患などによる退職者も増えている。23年度飛騨への新任教員の6人中5人が辞めた。学校にはいじめなどさまざまな問題に対処するために、たくさんの職種と担当者が配置されている。例えば岐阜市にはいじめ対策監といういじめ対策に特化した役職もあるが、教務主任や生徒指導との兼任が大半であるように、それらが十分機能していないし、できない。教育のデジタル化もそれに輪をかける。デジタル教育は、常にアップデートが求められ、せかされる。教員の力もつかない。



子どもにはゆったりとした教育こそが求められる、それにはまず遊びだ。遊びがなければ教育は成り立たないが、今の学校には遊びがない。放課後も学校では遊べないし、登下校の列はまるで「葬列」だ。

また子どもの成長には、目・耳・鼻・口・肌の五感を育てる・使うことが必要だが不十分だ。相撲やおしくらまんじゅうなど肌（体の接触）を合わせる遊びがよいが、危険を避けるのかこんな遊びはしない。

子ども達を「幸せ」にするために、「良い」成績「良い」学校「良い」仕事などと追い込んでゆきがちだが、幸せとは何か、私たちは価値観を変えなければならない。

最後に「食」について一言。「食」はとても大切で（子ども達の成長を考える上でも）、店で売られている食品に貼られている、原材料などを表示するシールに注目してほしい。原材料を表示する欄の途中に「/」（スラッシュ）があり、その後には添加物の名前が並んでいる。私はいつもその「/」の後の添加物の表示に注意をしている。添加物を100%拒否はできないが、食品を選ぶときの重要な判断材料だ。

今岐阜市内に発達障害とされる児童生徒は全体の7～8%、食物アレルギー・アレルゲン保持者は約10%と増えている。その原因として食物添加物が考えられるのではないかな。

おしまいに、参加者から感想を紹介します。

- ・興味深いお話を聞くことができよかったです。いろんな問題が山積みでたいへんだなあと思い聞いていましたが、食の問題は自分の目の前にもあるわけで、きちんと考えなくてはいけませんね。
- ・私が子どもだった頃、子どもが子どもだった頃と、何が何のために変わったのか。誰が変えたのか。今日の講演は多くの問題提起があった。すべて利潤追求の社会の行きつく先は、人類の滅亡ではないかと思う。引き続きの話し合いを望みます。
- ・男性3人のみ。もう少し参加をふやしたいです。
- ・教育も食育もおそろしい状況になっていることにゾッとしました。世の中を根本から変えることしか人類が生き残る途はないとつくづく思いました。
- ・教育現場の大変な状況の話をおりがとうございました。食の問題、いろいろな事に影響が？社会の富ばかり求めるのを、一人一人が大切に生きられる様、変えなくてはと思います。自分なりに出来る事をしていきたいと思います。

## 「2024 九条の会岐阜県交流会」を開きます

3月31日（日）午後1：30より、JR岐阜駅のハートフルスクエアG（2F）の大研修室で見出しの交流会を開きます。記念講演：日本福祉大学の三宅裕一郎教授による「『軍事による平和』に対抗するために私たちが知っておくべきこと」の後参加者による意見交流があります。参加費無料です、どなたでも参加できますが参加予定のある方は、この通信冒頭の連絡先まで年1204連絡をいただくと助かります。

編集者のぼやき 2022年の統一教会から始まって昨年から続く「ウラ金」問題に至るまで、政権党の国会議員は首相も含めて軒並み認知症になってしまったか。ウソつきになってしまったようだ★つい数年前に、会ったり文書に署名したりしても記憶にない、何百万・何千万のお金の使い道も知らない・部下の「会計責任者」に任せきりだという★そういえば暗殺された安倍晋三氏も、国会でウソの答弁を重ねていた★その上この人たちの大半が「美しい国日本」だの「学校で道徳教育をもっとやれ」だの「愛国心」だのと叫んでいた御仁たちだ★元教員の編集者のひがみか、この御仁たちの中に教育を「司る」文科大臣経験者が多いのも気になる★おしまいにもう一つ、盛山現文科大臣は、灘中・灘高・東大だそうだ。島9の活動は、賛同してくださるカンパが頼りです。そして世話人会にも参加してください。次回は4/9PM2:00 島小南門前 田村さん宅です